

度要求が通る様に思はれる故會社としては此際斷乎として彼等の要求を拒絶する。そして電車の運轉は犠牲的精神に富んだ乗務員の中へ監督や事務員を加へて急場を凌ぎ半面に罷業に加は、つてゐるもの、中で脅迫されて己むなく大勢に引摺られてゐる者が多數にあるから諸方面の力を藉りて是等のものを出勤せしめ運輸の任務を完全に果したい」と。

一方午後一時半の出勤者は全線を通じて車掌運轉手四十名で午前十時までの形勢に比して一段と悪化しこれに技術員監督等を加へて車輛總數三十八輛の中三十二輛を十六聯結運轉とし六輛を單車運轉として區間運轉を全廢し悉く全線運轉を實行してゐたが午後二時以降の出勤者が激減する時は現在従事者の疲勞と相待つて更に憂ふ可き状態に陥るので會社側では乗務員の狩出に全力を傾注したのであつた。

扱て右罷業の原因について調べて見ると初任者の日給が九十八錢で他の収入を合するも他の郊外電車に比して少額である故に初任者及其他全般を通じて參拾錢値上を要求したのであるが三崎專務の言明に依ると初任者の収入は手當賞與の割當等を合算して最低四拾圓から最高四拾五圓位までであるとのことである然るに之を他の郊外電車に比較して見ると阪神に比して遙に収入の少い北大阪、高野電車に比しても尙ほ阪神の方が少額であつたのである。

右の原因から遂に天神祭の紋日を期して運輸従業員の同盟罷業となつたのであるが午後勤務の七十餘名

も一人として出勤せず會社側から自動車で自宅へ狩出しに行き車庫まで連れて來ると直ぐ又何所かへ姿をかくしてしまふと云つた状態で午後三時尼ヶ崎本社 of 動力課と會計課とから臨時に課員五十九名を繰出し制服制帽で『釋掌』と染抜いた線の腕章を巻き各停留所に立たしめ或は電氣課所屬の電線工夫も汚れた作業服のまゝで改札係を勤めるなどして急務を凌いだそれでも午後四時前後からは天神祭の見物客で各停留所とも近來にない難沓を極めた。午後八時から十一時過ぎまではその戻り客で混雑を見る覺悟で梅田操車係では手配をしてゐた所四分乃至六分毎に二輛連結が發車するので案外難沓もせず半日は午後九時頃から弗々入庫するのを一時間遅れて入庫した位いの事で済んだ。

然し何れも朝來殆ど無休で働いたので八時頃にはヘトとなり明日もある事だから今夜はこれで歸して貰ひ度いと云ひ出たがモウ暫くと引止めて従業せしめてゐた。ある監督の如きは『こんな激な勞働は金錢の問題ぢやアありせん社會奉仕の爲めと思へばそこで』と倒れんばかりになつてゐた。

然して青木の談笑俱樂部では依岡椿野川島などの幹部連も見えず義に大阪市電を解雇された河内山藤原などの野武士組が沿線各所の従業員私宅を廻つてゐたが罷業中の或者が御影青木抗瀨等の停留所に出没して出勤従業員を脅迫するといふので其筋は警戒を嚴にし御影で三名の檢舉者を出した。

會社側では同夜三崎專務と杉山運輸課長等鳩首して善後策を凝議したが談笑俱樂部の要求には絶對に